

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康寿命延伸産業創出事業			事業番号	001-010
担当部署名	市長公室	局	政策企画部	部	先進事業担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力～Attractive～	施策	(6) 民間投資の戦略的な誘導	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②地域特性を踏まえた企業誘致の促進			
			有・無	指標名	堺市イノベーション投資促進条例に基づく認定投資額			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(9)産業と技術革新の基盤をつくろう	ターゲット	9.2	
			有	取組	都市拠点の特性に応じた事業所の立地誘導			
			有・無	指標名	堺市イノベーション投資促進条例に基づく認定投資額			
		有	現状値	227億円(2010～2019年度までの平均値)	目標値	400億円(2021年度からの累計)		

2	関連計画	・堺スマートシティ戦略 ・SENBOKU New Design			
3	事業開始年度	平成 29 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全国の次世代ヘルスケア産業に関心のある企業・起業家等（会員数は38団体）	対象数	単位	
			—	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	近畿大学医学部及び近畿大学病院の開設を見据え、特に民間企業や大学等と産学公民連携体制を構築し、泉北ニュータウン地域における健康寿命延伸産業の創出や地域活性化にむけた取組を進めることを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	産学公民の多様な主体が連携し、健康寿命延伸産業の創出等をめざし設立した「堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム」が主体となり、国や府、市の各部署の取組と連動し、以下の事業を実施。 ・優れたヘルスケアサービスを創出するための実証プロジェクト、ビジネスマッチング、大学と連携したカレッジラボの実施 ・本市の取組やエリアポテンシャルを全国に発信し、産業創出に向けた機運醸成を図るシンポジウムの開催			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	堺市健康寿命延伸産業創出コンソーシアム			
10	公民連携・協働事業	民間企業や大学等と連携し、実証プロジェクトやビジネスマッチング、カレッジラボ等の取組を実施			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和2年度	令和3年度	目標	点検年度	
				令和4年度	令和7年度			
				目標値	3	10	10	10
				実績値	8	13		
	達成率	267%	130%					
	当該指標を選定した理由	事業所の立地誘導のためには、実証プロジェクト等を通じてエリアとしてのポテンシャルを企業に認識してもらう必要があるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	コンソーシアム及びコンソーシアムの趣旨に賛同する団体等が実施する実証プロジェクトやイベント等の件数 目標値は、前年度までの実績値を踏まえ、令和3年度同様の数値とした。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和2年度	令和3年度	目標		
				令和4年度				
				目標値	15	30	30	
				実績値	27	36		
	達成率	180%	120%					
	当該指標を選定した理由	大学や企業とのディスカッションなしには、社会実装を見据えた実証プロジェクトに繋がる事業創出ができないため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	産学公民が連携し、コンソーシアムの趣旨に即して実施する会議や勉強会等の実施件数 目標値は、前年度までの実績値を踏まえ、令和3年度同様の数値とした。						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	健康寿命延伸産業創出事業	事業番号	001-010
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	11,178	5,917	6,406	6,231	5,085
13 財 源 内 訳	国支出金	4,396	2,565			
	府支出金					
	市債					
	その他 (会員会費)	1,350	663	675	600	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	5,432	2,689	5,731	5,631	5,085
14	人件費 (b)	5,670	9,840	5,250	5,250	3,640
15	年間経費(c)=(a)+(b)	16,848	15,757	11,656	11,481	8,725

事業費の内訳

(単位：千円)

	項目	年度		事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	R4	決算	予算		R3	R4	決算	予算
16 事 業 費 内 訳	コンソーシアム負担金	R3	決算	5,500	5,500		R3	決算		
		R4	予算	5,000	5,000		R4	予算		
	旅費	R3	決算	131	131		R3	決算		
		R4	予算	85	85		R4	予算		
	会員会費	R3	決算	600	0		R3	決算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
		R3	決算			R3	決算			
		R4	予算			R4	予算			
		R3	決算			R3	決算			
		R4	予算			R4	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区分	単位	令和2年度	令和3年度
17	① 健康寿命の延伸に関する実証プロジェクト等の実施数	件	8	13
	② 上記①にかかる年間経費	千円	15,094	10,881
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,886,750	837,000
備考 (算出についての説明等)				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症の影響や予算の縮減もある中、健康寿命の延伸に関する実証プロジェクト等の実施数は増加し、事業の効率性を高めることができた。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>事業所の立地誘導のためには、まず当該エリアのポテンシャル等を企業に認識してもらう必要がある。当該事業ではそのための取組として公民連携での実証プロジェクトやマッチング、シンポジウム等を行っているが、令和3年度の実証プロジェクトの新聞・ネットメディア等への掲載やシンポジウム・勉強会への参加者数等の実績 (シンポジウム373名、勉強会193名) を踏まえ、幅広く本市の健康寿命延伸産業創出の取組を訴求することができたといえることから、事業目的の達成に寄与することができたと考え。</p>
----	--